

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 仙台市 】

1 実践テーマ	【Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ】
2 実施対象者	仙台市立旭丘小学校 1～6年生 397名 (披露会：保護者 地域(来賓) )
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育・創意・道徳 ) ② 行事名 ( 50周年記念事業 ) ③ その他 ( 朝会, 朝の活動 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	ダンスや国際理解などの学習を通して、わが国の郷土を愛し、他国を尊重し、他人を思いやる心や共に助け合って生きようとする心情を育む
5 取組内容	1 タイ王立舞踊学校チェンマイ校との交流活動(6月30日) 協賛：日立システムズホール ① タイの舞踊・音楽鑑賞(全校参加) ② 4～6年生との交流会(給食交流会を含む) 旭小南中ソーラン披露(5・6年生), 合唱披露(4年生), タイの舞踊講習会, 給食時の交流会



## 2 タップダンス

6月5・6日 第1回タップダンス講座（全校児童対象）

講師：荒井道男氏

「タップダンスの由来を知り、タップを踊ろう」（学年ごと）



6月～7月 朝の活動での練習，兄弟学年との練習

9月11・12日 第2回タップダンス講座（全校児童対象）

講師：荒井道男氏 「タップを踊ろう」（学年ごと）

10月 タップダンス練習・兄弟学年での練習6日間

・全校での練習 31日（朝の活動）



11月14日 第3回タップダンス講座（全校児童対象）

17日 披露会に向けての全体練習（1回）

18日 タップダンス披露（全校）と鑑賞会（18日）



## 3 国際理解

8月25日 オリンピックの義足を作る臼井二美男氏の話（朝会：校長）

12月 オリンピック・パラリンピック理解教育（道徳）

（マスコットキャラクター選定含む）

22日 本校からJICAでガーナに派遣された職員からの話（朝会）

2月7日 国際交流活動（1～6年生）講師：東北大学留学生 14名

フィジー，ナイジェリア，ハンガリー，マレーシア，イラン，インド，中国，ジンバブエ，アルジェリア，フランス，台湾，モンゴル

各学年やクラスごとに，自己紹介やゲームなどを通して，留学生との交流を深める。留学生からは，自国の文化について紹介してもらい，本校からは日本の伝統文化などについて伝える活動を行う。



<p>6 主な成果</p>	<p>○タイの方からタイの踊りを見せていただいたり、タップダンスを踊ったりすることにより、世界の様々な踊りを知る機会になった。タップダンスでは、1・6年、2・5年、3・4年の兄弟学年で練習に取り組み、上学年が下学年と思いやりの心で接し、共に助け合いながらタップダンスの振り付けを身に付けようとする姿が見られた。講師からは、本格的なタップダンスを見せてもらうことで、自分もやってみたいという意欲を高め、良いイメージを持って練習に取り組みさせることができた。振り付けについては、児童の実態に合わせ、シンプルで分かりやすいものにし、限られた練習時間でも全校児童に身に付けさせることができた。本番では、全校でタップダンスを楽しみ、会場全体が一体となって盛り上がり、50周年記念行事がより印象深いものとなった。</p> <p>○タイ舞踏団や東北大学留学生との国際交流活動では、本校からは日本の踊りや合唱などを披露し、外国の方からは自国の文化を紹介してもらい、異文化についての理解を深めることができ、他国を尊重する態度も育まれた。外国の方々も、交流活動を楽しんでくださり、「とても楽しく関わり合うことができた」、「給食も大変おいしかった」などの感想をいただいた。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックについての理解が深まり、東京で開催されることへの期待も高まった。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○タップダンスは、ほぼ全員が未経験者であるものの、発達年齢や運動の得手不得手にあまり左右されずに全校で取り組むことができるのではないかと考え、近隣の日立システムズホールで活動しているタップダンスの団体に講師を依頼して、全校タップダンスに取り組むこととした。その成果発表の場を開校50周年記念行事とすることで、児童のモチベーションを上げ、意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>○タイ舞踏団や東北大学留学生との国際交流活動では、体験活動を重視した。給食会食なども通して、積極的に互いが関わるようにした。特に2月の国際交流活動では、全クラスに一人以上の留学生の方を配置し、2時間分の授業時間を確保することで、児童一人一人が交流を図れるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○目標にある「郷土愛を育む」ことについては、十分には達成できなかった。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料・映像資料やI'm POSSIBLEの発達段階に応じた有効な活用の仕方と指導時間の確保を更に考えていきたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○国際交流活動の実施。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料・映像資料やI'm POSSIBLE等を活用した国際理解教育。</p>

